

困ったときは？

医療・介護についての 質問コーナー

質問

私の母は、78歳で慢性閉塞性肺疾患（COPD）の治療を受けています。遠方でひとり暮らしなので、東京に呼び寄せて入院治療を続けたいと思っています。入院予定先の相談員さんに「面談時にADL評価表をご用意下さい」と言われました。ADL評価表とは何でしょうか？

※ご質問を受付けています。郵便または
FAXにて編集委員会までお寄せ下さい。
FAX：042-491-9518

回答

ADL評価表とは、患者さまの現在の日常生活動作状態を表にしたもので、正式には「ADL区分」と呼んでいます。「ADL区分」は日常生活動作についてa～dの4つの項目を設け、また、それぞれを0点から6点で評価し、その合計点数で3つの区分（区分1～区分3）の中の一つに決まります。患者さんを評価し区分を知る事で入院料等の算定の目安にします。

項目	内容	レベル
a. ベッド上の可動性	横になった状態からどのように動くか、寝返りをうったり、起き上がったり、ベッド上の身体の位置を調整する	0～6点
b. 移乗	ベッドからどのように、いすや車いすに座ったり、立ち上がるか（浴槽や便座への移乗は除く）	0～6点
c. 食事	どのように食べたり、飲んだりするか (上手・下手関係なく) 経管や経静脈栄養も含む	0～6点
d. トイレの使用	どのようにトイレ（ポータブルトイレ、便器、尿器を含む）を使用するか。排泄後の始末、おむつの替え、人工肛門またはカテーテルの管理、衣服を整える（移乗は除く）	0～6点
		(合計点)

0点	自立：手助け、準備、観察は不要または1～2回のみ
1点	準備のみ：物や用具を患者の手の届く範囲に置くことが3回以上
2点	観察：見守り、励まし、誘導が3回以上
3点	部分的な援助：動作の大部分（50%以上）は自分でできる・四肢の動きを助けるなどの体重（身体）を支えない援助を3回以上
4点	広範囲な援助：動作の大部分（50%以上）は自分でできるが、体重を支える援助（たとえば、四肢や体幹の重みを支える）を3回以上
5点	最大の援助：動作の一部（50%未満）しか自分でできず、体重を支える援助3回以上
6点	全面依存：まる3日間すべての面で他者が全面援助した（および本動作は一度もなかった場合）

ADL 区分1	ADL 合計得点 0～10点
ADL 区分2	ADL 合計得点 11～22点
ADL 区分3	ADL 合計得点 23～24点

(注) 点数が低い方が自立度が高くなります。